

〈専門領域名〉

放射線科

専門研修プログラム名	川崎医科大学附属病院放射線科研修プログラム																									
連携施設群 (連携施設一覽)	川崎医科大学総合医療センター放射線科、総合南東北病院放射線科、岡山中央病院放射線科、兵庫県立粒子線医療センター放射線科																									
募集定員数	各年次 4 名	研修期間	3年間																							
専門研修プログラムの概略	<p>1. 専門研修プログラムの内容(概略)</p> <p>本プログラムでは放射線診断専門医および放射線治療専門医のいずれにも求められる放射線科全般に及ぶ知識と経験を一定レベル以上に有する「放射線科専門医」を育成することを目的としています。</p> <p>基幹施設である川崎医科大学附属病院放射線科では、医学一般の基本的知識技術を習得した後、画像診断法(X線、超音波、CT、MRI、核医学)、IVR、放射線治療並びに放射線の安全管理の知識を習得します。さらに医師としての診療能力に加え、教育・研究などの総合力を培います。連携施設である川崎医科大学総合医療センター放射線科、総合南東北病院放射線科、岡山中央病院放射線科では、急性期疾患、日常臨床で頻繁に関わる疾病の画像診断(X線、消化管造影、CT、MRI、核医学)およびIVR(血管系、非血管系)に適切に対応できる総合的な診療能力を培い、兵庫県立粒子線医療センター放射線科では治療の適応、治療計画、治療の実際を研修し、川崎医科大学附属病院放射線科の研修を補完します。</p> <p>研修期間3年間での経験目標をX線単純撮影 400例、CT 600例、MRI 300例、超音波検査 120例、消化管X線検査 60例、核医学検査 50例、IVR(血管造影を含む) 30例、放射線治療 30例と定めています。その他、放射線科におけるカンファレンスおよび関連診療科との合同カンファレンス、あるいはがんサージカルボード等への参加。また、放射線科関連の学会、学術講演会、セミナーへの参加、学会発表や論文作成を行うこともできます。</p>																									
	<p>2. 当専門研修プログラムの研修スケジュール</p> <p>研修コース<例></p> <table border="0"> <tr> <td>コース</td> <td>専攻医1年目</td> <td>専攻医2年目</td> <td>専攻医3年目</td> </tr> <tr> <td>A.</td> <td>専門研修基幹施設</td> <td>専門研修基幹施設</td> <td>専門研修基幹施設</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="3">または連携施設</td> </tr> <tr> <td>B.</td> <td>専門研修基幹施設</td> <td>専門研修連携施設</td> <td>専門研修連携施設</td> </tr> <tr> <td>C.</td> <td>専門研修基幹施設</td> <td>専門研修連携施設</td> <td>専門研修基幹施設</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(大学院・臨床)</td> <td>(大学院・臨床)</td> <td>(大学院・臨床)</td> </tr> </table> <p>コースA: 専門研修基幹施設を中心に研修する基本的なコースです。基礎・臨床研究を体験できる体制が整っている基幹施設ではリサーチマインドも滋養します。</p> <p>コースB: 専門研修連携施設を中心に研修するコースです。専門研修基幹施設での1年間の基本研修修了後、専門研修連携施設で臨床医としての実地研修に重点をおきます。専門研修連携施設は原則として1年ごと異動しますが、諸事情により2年間同一施設で研修することもあります。</p> <p>コースC: 専門医取得と博士号取得を同時に目指すコースです。大学院に進学し、専門研修基幹施設の川崎医科大学附属病院ならびに専門研修連携施設で、臨床現場での研修と臨床系研究および講義を両立しながら博士号取得をめざします。サブスペシャリティ領域の研修も、学位が取得できるまで同様の状況が持続します。</p>			コース	専攻医1年目	専攻医2年目	専攻医3年目	A.	専門研修基幹施設	専門研修基幹施設	専門研修基幹施設		または連携施設			B.	専門研修基幹施設	専門研修連携施設	専門研修連携施設	C.	専門研修基幹施設	専門研修連携施設	専門研修基幹施設		(大学院・臨床)	(大学院・臨床)
コース	専攻医1年目	専攻医2年目	専攻医3年目																							
A.	専門研修基幹施設	専門研修基幹施設	専門研修基幹施設																							
	または連携施設																									
B.	専門研修基幹施設	専門研修連携施設	専門研修連携施設																							
C.	専門研修基幹施設	専門研修連携施設	専門研修基幹施設																							
	(大学院・臨床)	(大学院・臨床)	(大学院・臨床)																							
専門医に必要な要件の概略	「日本医学放射線学会、放射線科専門医制度規定」を参照 http://www.radiology.jp/content/files/20150508a1.pdf																									
プログラム統括責任者	ふりがな 氏名	たまた つとむ 玉田 勉	所属・役職 放射線科・診療部長(教授)																							
プログラム担当者	ふりがな 氏名	やまもと あきら 山本 亮	所属・役職 放射線科・医長(講師)																							
問合せ先	Tel: (086)462-1111(代表) 内線(25502) E-mail: ttamada@med.kawasaki-m.ac.jp		(部署名) 放射線画像診断学教室																							